

住宅屋根無雪化事業 の総括は

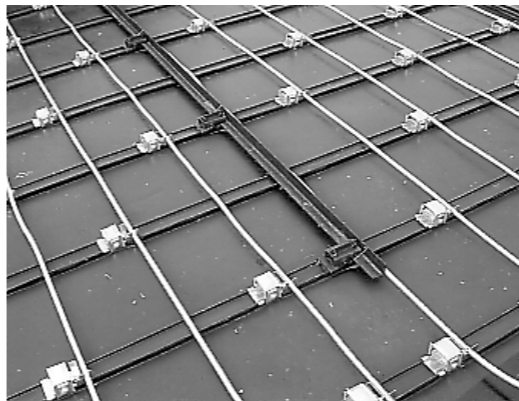


竹井政志議員

◇住宅屋根無雪化事業の復活について

【質問】平成22年度から平成24年度までの三カ年実施計画の中で「住宅屋根融雪化事業」900万円が計上されているが、過去11年間の補助事業をどのように総括し、復活させたのか。

【部長】利用した多くの市民が「雪下ろしや雪かたづけの心配がいらない」と答えている点、灯油価格が安定してきた点、事業中止後市内業者者に6、7件の申込者があったことをふまえ、来年度より新たな



屋根雪融雪設置工事の施工例

な制度として実施したい。

◇保育所最低基準緩和について

【質問】厚生労働省は基準緩和の特別措置をとる方針を示した。安心して子育てできる社会の実現を期待する親たちの願いに逆行するものだ。基準緩和は直ちに撤回し保育の質の低下をさせないようにすべきと考えるが。

【教育長】現行の基準でも保育運営に大きな影響がでるわけではない。今後、どのように改正されるのか、国の動きを注視していく。

◇来年度実施の抽出方式学力テストについて

【質問】自民・公明党政治のもとで進められてきた「全国学力テスト」は、過度な競争をとおる自己肯定感をもてない子どもたちを増加させるとして、教師、保護者、学者たちに反対されてきたもの。来年度の「学力テスト」に参加するかどうか。

【教育長】どのような形で行われるのかはつきりしたところで正式に参加するのか再度、確認する。

経済振興策について



上松永林議員

◇人口増加策としての住宅建設は

【質問】飯山商工会議所では地域経済が衰退している中で、地域の活性化を図るには定住人口の増加が必要と、「人口増加対策に関する要望書」を市長に提出したが、人口増加策をどのように考えるか。

【市長】要望の趣旨は、市街地活性化の施策と人口増加のために市が住宅建設をということだった。本町通りのアーケードには取り組むが、限られた財政の中で市営住宅を建設する予定はない。定住人口を増やすには働く場を確保し世帯の所得を増やす必要があり、企業誘致や農業振興等に取り組み。

【部長】定住回帰支援の補助金で一定の成果もあり、今年度からは移住者のための住宅補助も始めた。土地開発公社保有土地の分譲価格も下げた。人口増には就労対策、子育て支援、住宅施策の充実等で最大限に取り組み。

【部長】回遊性のあるまちづくりのために、本町アーケードを整備する。来年度は調査研究の期間だが、地元とよく協議したい。



本町通り

【質問】住宅建設は経済対策でもあるが、新事業をしないのは当面財政健全化が優先ということか。

【部長】新幹線関連と統合中学校建設は喫緊の課題で最優先。これは経済対策でもある。その他の事業は基金を取り崩しているのが現状で、新規の起債はしない。

◇市内業者への発注も景気対策

【質問】工事の大部分は市内業者だが、物品購入でも配慮すべきだ。

【副市長】市内業者を最優先しているが、取り扱っていない物品については市外業者の場合もある。

新幹線開業に 向けた取り組みは



水野晴光議員

◇新幹線開業に向けた取り組みについて

【質問】振興公社と観光協会の合併が、来年4月に行われるべく、12月補正予算に計上されているが、合併により公社、観光協会が活性化されることを切望する。

【答弁】合併により、多方面で観光宣伝を行い、農業振興に繋がるよう取り組みたい。

【質問】新幹線駅駐車場について、高速度道路の無料化や、ガソリンの税率が変わり安価となった場合、鉄道利用の減少が考えられるが、駐車場はどのような考えか。

【答弁】立体駐車場300台、平面駐車場200台を予定している。開業に向け、当面立体駐車場を半分の150台の建設予定で、様子を見ながら増設を図りたい。

◇スキーツーナ育成について

【質問】スキー選手の育成や冬期間の体力向上の為、児童生徒を対象に育成連絡協議会があるが、今後のスキー振興についての考えは。



市役所屋上からオリンピック出場祝の垂れ幕が

クロス1名の専任コーチ制とし配置した。できる限り生徒のために対処していきたい。

【質問】太田地区トピアホールの用地取得状況、及びふけの橋の工事が降雪期になっても実行されないが。

【答弁】トピアホールの用地は合意ができた。ふけの橋は渇水期に工事を行うため、来年2月末には完成する。

【質問】市の顧問弁護士について過日の報道で、県弁護士会より戒告処分を受けたとされたが問題ないか。

【答弁】現在まで特に支障は感じていない。今後、弁護士会の動向に注意していきたい。

子供たちの教育を 基本にした統合を



水野英夫議員

◇企業誘致について

【質問】昨年来話のあった戸狩工業団地への誘致企業の話はどのようなになっているのか。誘致活動の現状と今後の見通しは。

【答弁】誘致したいと思っている企業については副市長を中心に随時先方と接触を取っており、状況が好転次第進出したいとのこと。整備した用地の航空写真も見せている。

◇観光行政について

【質問】観光局を設立するにあたり、観光局の役割や目指す方向は。22年4月よりオープンする人形館を飯山市の活性化に活かす方策は。

【答弁】観光協会、振興公社を融合させた中で飯山市の良さを売っていききたい。

人形館は観光局に運営を任せる予定。食事処や土産品店等回遊性のあるまちづくりには市民に元気をだしてもらい、市も制度資金等で支援していくスタンスである。

◇教育問題について

【質問】中学校統合により改善される点、逆に心配される点は。同様に公立高校の統廃合は子ども



建設中の人形館

の減少でやむを得ないが選択の自由が無くなってしまふ。県教育委員会の城北グラウンドを利用した建設案は大変良い案に思う。議会でも賛成者が大多数。県の案をベースに考え、よりグレードの高い高校を創るべきと思うが。

【答弁】中学校統合に伴い生徒の人数が増え、子どもたちの交流や競争が深まり専門の教員が配置でき、部活動も活発にできる。

飯山高校建設は子どもの教育を原点に置きながら県の案が市民に受け入れられるならその方向で考えたい。